

No. 38
Full Bloom「満開」

卒業までのカウントダウン

来週の月曜日は、授業参観・懇談会です。高校によっては、このような行事はありませんので、中には、「最後の授業参観」という方も少なからずいらっしゃると思います。中学生は、身体的にも精神的にも大きく成長する時期です。義務教育を終えて、次のステップに進もうとするお子さんの姿を見守っていただきたいと思います。

各クラスの【卒業までのカウントダウンカレンダー】も数が少なくなっています。気付けば、卒業式まで登校日は30日を切りました。今週は、進路の決まった生徒たちで協力して卒業文集の編集作業を進めました。学級のページのアイデアを考え、初めての活動に苦労しながらも、クラスメートと協力し合って楽しく取り組んでいました。一人一人の思いのこもった文集は、卒業アルバムとともに、後日お届けします。

【県立高校入試に向けて】

県立高校前期選抜の出願の準備はお済みでしょうか。今年度から始まったWEB出願につきましては、ご家庭で手続きを進めていただき、保護者の皆様に感謝申し上げます。お忙しい中ではありますが、2月2日(月)までに検定料納付をお願いします。入学検定料の納付が完了しましたら、学年・学校で確認の上、校長先生が承認して、出願完了となります。

また、今週は学年で面接試験の練習を始めました。私立高校を受験した生徒も、改めて動作を確認して、どの生徒もスムーズに行動できるように支援して参ります。再来週からは他学年の先生方とも面接練習を行う予定です。志望動機・志願理由や高校でがんばりたいこと、中学校生活の中で学んだことなどについて、「自分らしさ」がよく伝わるように、内容をまとめておいてほしいと思います。

スプリングテストを実施します

3年生は、2月10日(火)の授業の中でスプリングテストを実施します。3年間の英語の授業のまとめとして、また、県立高校入試に備えて連語を中心に出题します。年間の「三冠王」、さらには3年間を通した「グランドスラム」を目指してがんばってほしいと思います。



来週の予定

3年生の下校時刻をお知らせしています▼

月 日 (曜)	1	2	3	4	5	6	行 事 等	給食	清掃	部活動	下校時刻
2/ 2(月)	月1	月3	月4	月2	参観	懇談会	授業参観・学年懇談会 県立高校出願申請・入学検定料納付 校内締切	○	×	×	14:30
3(火)	火1	火2	火3	火4	火5	火6	式歌練習(3年野) 昼休み・多目的ホール	○	○	○	16:15
4(水)	水1	水2	水3	水4	水5	水6	県立高校出願申請承認完了 B時程 職員会議	○	×	×	15:20
5(木)	木1	木2	木3	木4	木5	木6		○	○	○	16:15
6(金)	金1	金2	金3	金4	金5		県立高校出願受付完了、志願倍率発表 1・2年スプリング大会 新入生保護者説明会	○	○	○	15:15

入試に子どもを送り出す親が「直前にかきたい一言」

PRESIDENT Online 2026. 1. 24 富永 雄輔（進学塾 VAMOS（バモス）代表）

首都圏では2月に中学入試が行われます。それに向けての記事なのですが、高校入試を控えたご家庭にも参考になる内容が書かれています。ぜひ一読ください。



一見やる気のない子の「頭の中」

中学入試が本格的に始まるこの時期。日が過ぎるごとに、親の焦りは募る一方でしょう。この時期の子どもたちの心情や状態はさまざまですが、大きく二つのパターンに分かれます。

一つは、「やっと緊張し始めた」という子どもです。～一部略～ 多くの子どもたちにとって、入試という“本番”は初めての経験です。まじめにコツコツ勉強してきた子どもも、「まだ3週間もあるから大丈夫」と楽観的に捉えているかもしれませんし、ようやくエンジンがかかってきた子もいるでしょう。

もう一つは、「逃げ出したいくなっている」子どもです。一見、あまり勉強に身が入らないように見える子もいるかもしれません。しかしこういった子は、やる気がないのではなく、押しつぶされそうな不安から目を逸らしている可能性があります。～～

親の焦りが招く「言ってはいけない言葉」

～～ この時期に絶対に避けるべきなのは、子どもに対して「一方的な言葉を投げつけること」です。「勉強しなさい」「がんばって」という言葉は、すでに限界までがんばっている子どもをさらに追い込んでしまいます。中学受験生は、朝から晩まで学校と塾を往復する過酷な日々を数年続けています。日本で一番がんばっているのは彼らだと言っても過言ではないからこそ、慎みたい言葉です。～～

見るべき行動と「子どもに伝えたい言葉」

親はこの時期、何を注視し、どう接すればよいのでしょうか。もっとも大切なのは、子どもの「寝顔」と「食欲」を見ることです。12歳の子どもは、不安を言葉にするためのボキャブラリーがまだ少ないため、ストレスはSOSとして行動や体調に現れます。眠れない、あるいは逆に寝すぎてしまう、食べられなくなる……。こうした変化を敏感に察知してあげてください。

子どもにかけられる言葉としておすすめなのは、「お疲れさま」という労いです。送り出すときは「がんばって」ではなく「いってらっしゃい」、帰ってきたときに「お疲れさま。何か手伝おうか？ 丸付けしようか？」と、“あなたと一緒に戦っているよ”というニュアンスを伝えるようにしましょう。

加えて、「受験が人生のすべて」というスタンスを封じることも大切です。仮に中学受験で第一志望に受かっても、勉強はまだまだ続きます。受験はゴールではなく、あくまで通過点です。

改めて考えると、中学受験はとても特殊です。公立へ進学する道もありますから、受験が必須というわけではありません。しかし日本には今、この12歳でしか入れない私立難関校や中高一貫校が意外と多くあります。その学校に入る権利がこの2月の1～2日しかないから、親や子どもはここに照準を合わせていくし、その難しさが彼らを追い込むのです。

だからこそ、親が中学受験に熱中しすぎず、少し先を見据えましょう。そしてぜひ、家庭内に「安心できる空気」が生まれるよう、心がけてみてください。

きっとみんなに【サクラサク】！

